





# 赤ちゃんの健康メモ



●保健センター  
・中里34-17  
・☎34-0311

●平塚保健福祉事務所  
・豊原町6-21  
・☎32-0130

## 7月のカレンダー

### 7月の母親父親教室

◇前期 (妊娠6か月までの方)  
・7日(月) 歯の衛生、妊娠中の過ごし方  
・14日(月) 妊娠中と産後の栄養

◇後期 (妊娠8か月以降の方)  
・18日(金) お産の進み方と産後の過ごし方、呼吸法  
・25日(金) 赤ちゃんのお風呂

◇時間 午後1時30分～4時 (14日は午前10時30分～午後2時)

◇会場 保健センター

◇持ち物 母子健康手帳、筆記用具 (以上各回とも)、歯ブラシ・コップ・手鏡・牛乳パック (7日)、エプロン・三角布 (14日)、手ふ

きたオル (25日)

### 離乳食教室です

お申し込みは、教室の開かれる1週間前までに、会場となる保健センターへ。母子健康手帳と筆記用具、歯ブラシ(ブラッシング教室のみ)をお持ちになって、ご参加ください。いずれも第1子が生まれた父母向けの内容です。

【ごっこん離乳食教室】  
生後4～5か月児が対象。  
◇日時 7月24日(木) 午後1時30分～2時30分  
◇内容 始め方と試食

【もぐもぐ離乳食教室】  
生後7～8か月児が対象。  
◇日時 7月29日(火) 午後1時30分～3時30分

◇内容 進め方と作り方  
【かみ・ブラッシング 離乳食教室】  
生後10～12か月児が対象。  
◇日時 7月10日(木) 午前10時～11時  
◇内容 進め方と試食、ブラッシング指導

◇乳幼児健康診査は  
◇受け付け 午後1時～2時  
◇会場 保健センター  
◇持ち物 母子健康手帳、筆記用具、歯ブラシ (1歳6か月児のみ)

【日程と対象】  
◇7月の4か月児  
・2日 9年3月1日～10日  
・9日 9年3月11日～20日  
・16日 9年3月21日～31日

◇7月の1歳6か月児



★石井祐作くん  
平成8年10月22日生まれ (東八幡)



★阿久津達也くん  
平成8年9月26日生まれ (中原)



★辰橋真笑ちゃん  
平成8年7月18日生まれ (見附町)

## 赤ちゃんのステージ

広報広聴課「赤ちゃんのステージ」係(〒254平塚市浅間町9-1)へ。対象は1歳未満の赤ちゃん。締め切りは前月の20日。今回の応募は56人。



★野口泰成くん  
平成8年12月26日生まれ (広川)



★小澤佑希子ちゃん  
平成8年11月1日生まれ (田村)



★菅野伶弥くん  
平成8年10月25日生まれ (真土)

◇時間 午前9時～10時30分  
◇会場・問い合わせ先 平塚保健福祉事務所

## 育児一口メモ

「ほ乳びんの消毒方法」  
ガラス製のほ乳びんはブラシで、プラスチック製のほ乳びんはスポンジで洗います。乳首はもみ洗いして、吸い穴や空気弁のつまりを取り除きます。洗浄したほ乳びんや乳首は沸騰した湯に全体がかかると入れ、ほ乳びんは5分、乳首は3分ほど煮沸します。消毒の期間は生後3か月ごろまで大丈夫です。  
◇担当 健康課

・1日 7年12月1日～10日  
・8日 7年12月11日～20日  
・15日 7年12月21日～31日

◇7月の3歳児  
・3日 6年5月1日～10日  
・10日 6年5月11日～20日  
・17日 6年5月21日～31日

◇8～10か月児健康診査  
生後8か月以上11か月未満の乳幼児が対象です。母子健康手帳を持参して、指定医療機関で受診してください。指定医療機関については、市役所健康課(☎23-1111内線259)にお尋ねください。

◇2歳1か月児歯科健診  
◇日程 7月1日(火)、15日(火)、22日(火)

# 平塚写真スケッチ



意外と知られていないが、今でも平塚は県下一の米どころだ。みずほ小学校が開校した十九年前には、みずほ(瑞穂)という名が示す通り、「たんぼの真ん中に学校が建っているようだった」という。今では住宅や畑が増え、ほとんどの子どもが「田植えは初めて」だそうだ。しかし、皆様に「おもしろい」と答える。なぜだろう。

ぬるっとした泥の感触は、画面を通した疑似体験では分からない。時間と手間を掛けて育てる楽しさは、簡単にやり直せるゲームでは味わえない。なにしろ相手は大自然だ。四月初めの苗床づくりから十月中旬の稲刈りまで、日照りが続けば「水は大丈夫か」と気をもみ、台風がくれば「倒れていないか」と心配する。収穫の喜びはひとしおだ。十一月中旬には、この米を使い全校で「もちつき」をする事になっている。

たまごっちでは  
味わえない

## ひらつかの自然 No.15 水田のアマガエル

ふだんは草むらなどで生活している。下は水田で鳴くアマガエル



## 水田に響く アマガエルの合唱

たんぼに水が張られ、田植えが終わるころ、カエルたちの夜の大合唱が始まります。その主役は、「ゲツ、ゲツ、ゲツ」と元氣よく鳴き続けるアマガエルです。

アマガエルは、ふだんは丘陵地や緑地の草むらで生活していますが、梅雨のころになると水田に集まり、卵を産みます。そのときに、雄がのどにある鳴き袋を使って、体に似合わない大きな声を出します。昼間でも雨が降ってくると鳴くので、雨を知らせる生き物としても知られています。

アマガエルは、緑色の体をしていて、目の上を通る黒いすじがあるのが特徴です。環境によって体の色が変わり、枯れ草の間に潜り込んで冬を越すときには、白茶色に変わってしまします。

カエルの声がうるさいと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、季節の風物詩として楽しんでいただきたいと思えます。

▽担当 博物館☎33) 5111

大きな声を出すのです。昼間でも雨が降ってくると鳴くので、雨を知らせる生き物としても知られています。

アマガエルは、緑色の体をしていて、目の上を通る黒いすじがあるのが特徴です。環境によって体の色が変わり、枯れ草の間に潜り込んで冬を越すときには、白茶色に変わってしまします。

カエルの声がうるさいと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、季節の風物詩として楽しんでいただきたいと思えます。

▽担当 博物館☎33) 5111